

国民平和行進 和歌山→広島コース

6月3日（月）太地町公民館前

出発集会 17:15~



左より山田さん、漁野副町長、宇佐川教育長。



—核兵器禁止条約の早期発効を—

6月3日月曜日、晴れ。太地町の平和行進です。集会前、総務課秘書係を表敬訪問。協賛金とペナントを頂きました。又、「被爆者募金箱」も置いて頂ける事になりました。公民館前での出発集会が始まります。地元代表太地ともしび会の山田さんが挨拶。ともしびの会が核戦争と放射能汚染の不安のない未来を残す為、核の傘に依存しない非核日本と原発のない日本へと踏み出す運動を取り組んできた事が紹介されました。続いて、宇佐川教育長が三軒町長のメッセージを代読。「核兵器廃絶の為、原水爆禁止の運動にご尽力いただいている皆さんに敬意を表します」と私達への激励の言葉を頂きました。県平和行進実行委員会からは、被爆者の方が最後の力をふり絞って呼びかけ「ヒバクシャ国際署名」が世界を変えている事、県下自治体首長さんを始めとして多くの職員の方々の激励で平和行進が続けられている事を報告しました。集会宣言が読み上げられ、「青い空」を合唱して、平和行進となります。漁野副町長、宇佐川教育長が横断幕を持ち庁舎内平和行進を歩きます。例年、役場の管内放送で「出発集会に参加しましょう」とご案内して頂いています。今年も、職員の方が40人近く集会に参加頂きました。集会参加者は50人（暫定）でした。ヒバクシャ「国際署名」32筆も集まりました。太地町の伝統ある素晴らしい街並みには平和行進のポスターが貼られています。町並の家から子どもさんが出て来て行進に参加してくれました。